

名寄市教育改善プロジェクト委員会事務局だより

Step by Step

第26号

令和6年6月4日

発行

名寄市教育研究所では、総務部・教育研究部・調査研究部・教育改善プロジェクト委員会の4つの部門が置かれ、教育課題解決に向けて「ALL NAYORO」で取組を推進しています。

教育改善プロジェクト委員会は、令和6年度が第4次2年目となっており、「教育経営」「教育研究（研修）」「教育指導」のグループを中心に「部活動改革」を含め、全小・中学校が一体となって、教育課題の解決に向け取組を推進することとなりました。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

部活動改革（NAYORO スタイル）の推進

【部活動改革とは】

部活動は、これまで生徒の多様な学びの場、そして活躍の場として、教育的意義を有してきました。しかしながら、今日においては、社会・経済の変化等により、教育等に関わる課題が複雑化・多様化し、学校や教師だけでは解決することができない課題が増えています。とりわけ、少子化が進展する中、運動部活動においては、従前と同様の運営体制では維持が難しくなっており、学校や地域によっては存続の危機にあります。

生徒の豊かな文化・スポーツ活動を実現するためには、学校と地域との連携・協働により、学校部活動の在り方に関し速やかに改革に取り組み、持続可能な活動環境を整備する必要があります。

【令和4年度より】

○専門的な指導に関する支援

「部活動指導員配置促進事業」

「ICT部活動支援事業」

「学校応援隊・地域人材バンク事業」

○合同部活動における学校間の移動に関する支援

「部活動学校間バス移動モデル事業」

○保護者負担の軽減

「中学校生徒対外行事参加奨励費」 パワーアッププラン

○単独校以外の活動スタイル

中体連規程による複数校合同チームの編成

名寄市では、これまで

名寄スタイル部活動改革推進事業として

このような活動を推進してきました。

【令和5年度より】

○NAYORO スタイル合同部活動 *令和5年4月より

各校設置の部活動による合同活動

（各種大会等参加は、規程による）

○NAYORO スタイル拠点校方式（一部種目）の検討

在籍校に設置されていない部活動について、他校の部活動に参加可能

【令和6年度の予定】

○拠点校部活動の拡大

（名寄中：女子バレーボール 名寄東中：男子バスケットボール部・男女バドミントン 風連中：剣道）

○文化・スポーツ団体との連携充実（部活動指導員の活用拡大等）

【国のガイドラインでは、将来的に地域への移行を目指した取組へ】

★令和7年度末を目標に休日の地域移行（地域競技団体などによる指導）を目指す。

★平日はできるところから取組を開始する。

教育経営の充実に関する研究グループ

今年度の取組

(1) 学校運営協議会の意義や活用方法の再認識（チェックリストの作成）

①通信(1～4号)を作成し、大切にしたいことを通信の中で、チェックリストとして明記

1号: 学校運営協議会の意義(管理職、一般教員、保護者・地域、それぞれの意義)

2号: 学校運営協議会委員とその選定の在り方(学校運営協議会委員の在るべき姿)

3号: 学校運営協議会の活動内容(熟議や特色ある取組例)

4号: 市教委作成の評価シートの活用・分析の在り方(実践の様子)

②評価シートは年度当初に学校運営協議会委員に配付(目的意識をもった運営)

③学校運営協議会の改善を目指し、評価は年に2回以上の実施を想定

④通信は完成後、期間を空けて1号から順に各学校に配付(管理職・職員で共有、内容に応じ

て学校運営協議会委員や地域住民とも共有)

(2) 名寄市働き方改革指標「Nayoro Star Action」(第3期)の完成・周知

①5つのアクション(北海道アクションプラン)に合わせた具体的な取組の精選

教育研究(研修)の充実に関する研究グループ

今年度の取組

(1) スクールリーダー等の育成を図る組織マネジメントや研修の充実

①NITS等の研修動画や各研修センター研修パッケージの活用による研修を実施

②講師を招いた研修は、リーディングDXスクールに採択された学校の教務担当教諭を検討

③先進的な事例から学ぶ視察研修は、リーディングDXスクールに採択された学校の視察や人材育成に関わる企業視察を検討

(2) 教育実践の質の向上に資する戦略的な取組の充実、各校の現状交流や好事例の共有

①ドライブ活用やスプレッドシート事前記入等工夫をした中で、交流の質の保障と時間短縮

②校務DXについて、「教育指導の充実に関する研究G」との連携、情報共有し、日常実践

③興味・関心に基づく研修テーマとして、リーダー論、危機管理、評価・評定、生徒指導提

教育指導の充実に関する研究グループ

今年度の取組

- (1) Chromebook 持ち帰りの充実
 - ①Chromebook 持ち帰りの現状交流と課題解決を推進
 - ②Chromebook 持ち帰りでの効果的な活用の検討
- (2) AI ドリルの活用と各校状況の課題交流
 - ①AI ドリルの本格導入に向け、ステップの提示
 - ②AI ドリルの効果的な運用と検討
- (3) 多様な学びの場の構築（ICT を活用した不登校支援）
 - ①ICT を活用した多様な学びの場の構築事例
 - ②先行実践校の選定と取組
 - ③UD（ユニバーサルデザイン）な授業や校務の取組
- (4) ICT による校務の効率化に関わる事例の収集と共有
 - ①各校における ICT による校務の効率化に関わる事例の収集
 - ②好事例の普及と各校の取組交流

～今後の予定～

- 6月～ 各研究グループ会議
- 11月下旬 各研究グループのまとめ
- 12月中旬 各研究グループ 名寄市教育研究集会資料完成
- 1月中旬 令和6年度教育改善プロジェクト答申提出

1月21日（火） 名寄市教育研究集会（各研究グループ・班研修発表）

名寄市学校教育推進計画

1. 信頼される学校づくりの推進
2. 生きる力を育てる教育の推進
3. 社会の変化や多様な教育ニーズへの対応
4. 安全安心な教育環境の整備

<参考資料>

令和6年度 教育行政執行方針（名寄市教育委員会）

<http://www.city.nayoro.lg.jp/section/kyouiku/vdh2d1000000cqxr-att/prkeql000003hor0.pdf>

